



さいたま市議会議員（1期目）
新人の目、市民の目線を大切に！

佐伯かずみ

市議会レポート（活動報告）NO.17



元気なチームさいたま市を目指します！

老若男女、障がい者、LGBT マイノリティ、外国籍にかかわらず、誰もが参画できる元気なチームさいたま市を目指します。

12月議会開催（11/25～12/16）以下の議案等を審議

●新型コロナウイルス感染症への対応として、

- 高齢者施設でのクラスター防止を図るため、新規入所者にかかわる PCR 検査費用の補助
- 介護サービス事業所等へのサービスが継続して提供できるよう必要な経費の補助
- 市立病院の感染症病床の増床のため簡易陰圧装置の整備
- 税照明塔交付申請の手続きの電子化、個人番号カードの交付数の増加のため交付窓口の改善

●人事委員会勧告を踏まえ、議員、市長・副市長・教育委員長、職員の期末手当の引き下げ

●指定管理者の指定について(コミュニティセンター等) など



教育と安心安全なまちづくり

朝の駅頭が 200 回を数えました！チラシ を読んでもくださいありがとうございます！

コロナのために半年中断していましたが、2019年1月1日から始めた駅頭が200回となりました。大宮区7か所を回って活動しています。選挙の時だけの駅頭ではなく、駅に立ちみなさんに市政報告をし、みなさんの声をお聞きする活動をこれからも続けていきます。

◎佐伯かずみに教えてください！

あなたのモヤモヤや心配事、市政に関する事など、ぜひお気軽にお聞かせください。疑問点などは、現在の状況を調べて来ます！

市の情報や私の活動も随時流しています。右のQRコードから Line 公式アカウントで、お友達登録してくださいね。



佐伯かずみプロフィール

実践女子学園中学・高校、成蹊大学卒。防災士。早稲田大学スポーツ科学部非常勤講師。趣味：インディアカというレク・スポーツ。転勤族の妻として大宮区へ。息子2人(芝川小・第二東中卒)を育てる。みたらし団子とおせんべいが好き！「教育」と「安心安全なまちづくり」、「女性の政治参画」をすすめています。

視察報告(感染に十分注意し行ってきました)

プライドハウス東京レガシー(@東京都新宿区)

オリパラなどの開催に合わせ、LGBTQに関する情報や、LGBTQとスポーツという視点での学びの提供を行っています。施設内ではイベントを実施する多目的スペース、相談支援を行う個別スペース、ライブラリーもあります。

見学後友人のLGBTQ当事者でもある依田かれん新宿区議(右)と意見交換を行いました。さいたま市はパートナーシップ条例ができましたがまだまだ改善していく必要があります。

国立歴史民俗博物館企画展「性差(ジェンダー)の日本史」(@千葉県佐倉市)

古代から現代までの女性の役割やあり方、政治的・軍事的権力が強くなるにつれて女性が排除されていく様子などがわかります。資料と展示の丁寧さに圧倒されました。

誰もが自分らしく生きられる社会に、そして社会は変えて行けるというメッセージがあり、心強く感じました。みなさん、わたしと一緒にアクションを起こしていきましょう。

さいたま国際芸術祭閉幕、今後に思う！

2回目の芸術祭に参加して感じたのは、さいたま市に芸術の『土壌』を育てることが必要だということでした。そのためには、アーティストが集まり活動ができる場所の確保、仕事になる雇用の場、教育や福祉との連携、市民の日ごろからの参画など、浅見さん(写真)やサポーターの方からたくさんの示唆をいただきました。次の芸術祭に向けて、取り組んでいきたいと思えます。



市民プロジェクト・コーディネーター浅見俊哉氏 市民ワークショップに参加
思い出の品を感光紙(新聞)にやく

さいたま市コロナ相談窓口へのフローチャート(市HPに掲載あり)

